

平成27年度
交通局予算要求方針

【目次】

- 1 平成27年度交通局予算要求総括表及び経営方針・・・ 1
- 2 重点的に取り組みを行う主なもの・・・ 3

1 平成27年度交通局予算要求総括表及び経営方針

(1) 平成27年度交通局予算要求総括表

【交通事業会計】

平成27年度要求総額 2,170,316千円

(平成26年度予算額 2,855,710千円)

前年度比 $\Delta 24.0\%$ ※特別損失を含む

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成27年度 予算要求額 A	平成26年度 予算額 B	増減 A-B
バス運行事業	1,982,327	2,008,699	$\Delta 26,372$
バス車両更新事業	78,339	79,092	$\Delta 753$

(2) 平成27年度交通局経営方針

交通局では、平成23年度から「北九州市営バス事業経営計画」（平成23年度～平成27年度）に取り組んでいます。経営計画では、以下の3つの基本的な取組方針に基づき、経営上の課題に対して、効果的な対応策を講ずることにより、地方公営企業として独立採算性を維持しつつ、市民の生活の足としての重要な役割を果たしていきます。

平成27年度は、本経営計画の最終年度にあたり、同計画に基づく経営上の課題に対する取り組みを着実に実行し、健全経営を維持し、公営バス事業者としての使命を果たしていきます。

① 安全な運行の確保と安心・快適なサービスの提供

(方針)

◆安全な運行を確保し、安心・快適なサービスを提供するため、経営状況を見ながら、計画的に老朽化したバス車両の更新等を行います。

② 市民・地域と連携した事業の運営

(方針)

◆北九州市の施策と連携し、地域の振興や発展に貢献するとともに、「交通局外部CS懇話会（CS＝カスタマー・サティスファクション：顧客満足）」等を通じ、利用者のご意見・ご要望を積極的に事業運営に反映させていきます。

③ 健全な経営の維持

(方針)

◆若松北西部の路線見直し等の取り組みを継続するとともに、健全経営のための課題に対して効果的な対応策を講じ、健全な経営を維持していきます。

2 重点的に取り組みを行う主なもの

(1) 安全な運行の確保と安心・快適なサービスの提供

① バス車両の更新(3台) 78,339千円

V-2・継続◆安全な運行を確保し、安心・快適なサービスを提供するため、経営状況を見ながら、計画的に老朽化したバス車両の更新を行います。

② バス待合環境の整備 3,256千円

V-2・継続◆利用者が安心・快適にバスを待つことができるように、電照式(LED)バス停の設置を行います。

③ IP無線システムの導入 4,055千円

V-2・新規◆「乗務員と営業所間の安定した通信手段の確保」や「災害時等の危機管理体制の強化」のため、GPS機能付きのIP無線システムを導入します。

(2) 市民・地域と連携した事業の運営

① 利用者ニーズの把握充実

V-2・継続◆営業所・案内所に設置している「ご意見箱」等により、利用者のご意見・ご要望を常時聴取しながら、「交通局内部CS懇話会」(毎月1回)、「交通局外部CS懇話会」(年2回)等を通じ、積極的に事業運営に反映させていきます。

(3) 健全な経営の維持

① バス路線の見直し

V-2・継続◆「岩屋・蟹住～学研都市北口」の利用状況や収支状況を見定め、「岩屋・脇田～畠田」、「脇田・脇ノ浦～小石」の路線見直しに向け、関係者との協議を進めていきます。

② 路線維持に係る費用負担の明確化

V-2・継続◆通学支援便の運行に係る経費負担など事業のあり方について、引き続き関係部局との協議を進めていきます。

③ 人材の育成(正規職員の採用)

V-2・継続◆運行管理に関するノウハウを蓄積し、将来の運行管理部門を担う人材を育成していくため、経営状況を見ながら、計画的に正規運転者等の採用を行います。